

# 八王子地区 保護司会だより

第 119 号

令和 5 年 12 月 25 日発行  
発行 八王子地区保護司会  
編集 広報部  
電話 042-657-4928



いちよう祭り会場  
ダメくま君



## 青少年を違法薬物から守る!

東京都薬物乱用防止推進八王子地区協議会  
会長 山中 廣司

当協議会の活動に対し、保護司会、保護司の先生方には、多くのご支援、ご協力を頂き誠にありがとうございます。当協議会には 指導員15名(保護司2名)が所属しており、また八王子市独自の取り組みで、サポーターとして19名が(保護司会5名)登録されており、指導員と協力して啓発活動に当ります。事務局は八王子市保健所が担っています。

主な活動は、5月にエスフォルタ・アリーナにて関係部署と共同で開催される「健康フェスタ」と11月に行われる「いちよう祭り」での啓発活動です。会場には市内中学校の生徒が描いてくれた入賞作品の薬物乱用防止ポスター及び標語を掲示しています。それを目にした青少年、大人たちが改めて薬物の怖さを認識しています。「ダメ・ゼッタイ」のリーフレットを数時間の内に数千枚も市民の手に手渡しています。薬物関連の事件を無くすために、当協議会では各指導員が、学校の協力を得て未来ある生徒・学生に薬物の怖さや心身に与える影響などを啓発しています。薬物は覚せい剤、大麻、麻薬、MDMAだけではありません。咳止めや風邪薬の過剰摂取(オーバードーズ)も危険です。保護司をはじめ社会全体で、児童・青少年を薬物から守って、安全安心な社会にしましょう。(東分区)



# 社会貢献活動：とうきょう元気農場

## 9月15日(金)

社会貢献活動担当保護司 塚本 秀雄

### ● 社会貢献活動とは

法務省保護局によると「保護観察中の人たちが地域社会に貢献する活動を行うことを通じて立ち直る事を目的としています。社会の役に立つ体験を通じて人の役に立てるといった感情や社会のルールを守る意識を育みます」と、されております。

### ● 社会貢献活動担当保護司とは

社会貢献活動担当保護観察官やBBS、ボランティアの方々と共に協力して、保護観察対象者の社会貢献活動を推進する保護司を指します。八王子地区保護司会では現在4名\*）おります。保護司であれば誰でもなれますが、地区保護司会から東京保護観察所に推薦し、保護観察所長から社会貢献活動担当保護司として指名交付される必要があります。

\*）八王子地区社会貢献活動保護司

塚本秀雄、山田雅彦、本吉邦俊、井上太一

### ● 社会貢献活動の内容

八王子地区保護司会では「とうきょう元気農場」にて援農活動を行っております。この「とうきょう元気農場」は、平成23年4月から八王子市大谷町の都有地(面積5.9ha、東京ドーム 約1.2倍)を活用して、東京都が、農地のない都心の小中学校の学校給食に東京産農作物を提供するため、大根、ジャガイモ、人参、玉葱などを生産しています。我々は年に4~5回程、種つけ、ビニールかけ、草取り、収穫などのお手伝いをしています。

### ● 当日のスケジュール

現地に13時30分集合、オリエンテーション(活動目的、手順について説明、目標設定など)し、作業に入り途中休憩をはさみ15時30分に活動を終了。その後、振り返りを行い(感想発表、アンケート記入)、16時に解散となります。

慣れない農作業に苦労しながらも作物の出来た喜びと自分達で生産した野菜が都内の小中学校

の給食に使われている誇らしさを、かみしめながら笑顔で農作業に汗を流しています。尚、当日、雨天の時は八王子地区保護司会サポートセンターで切手整理のボランティア活動を行います。



塚本秀雄副会長

### ● 気をつけること

農作業している人は 皆が同じ「ボランティアの人」です。作業中はニックネームを使い、もし活動の場で個人情報を見たり聞いたりした場合には、この場限りのこととし外に漏らさないように気を付けています。



大根畑でのネットかけ作業



農業指導の中西伸夫さん (八王子市農業委員会会長)



## 第73回社会を明るくする運動

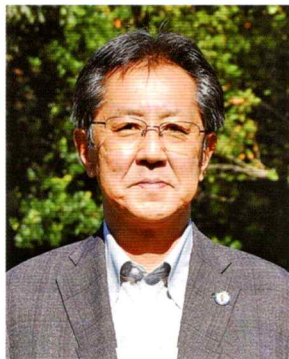
## みんなに届け 私たちのメッセージ

東分区 玉那覇 明

7月17日(月)いちょうホールに於いて石森孝志 八王子市長初め多数のご来賓をお招きし、第73回社会を明るくする運動「みんなに届け 私たちのメッセージ」が開催されました。初めに石森市長から、社明作文コンテスト最優秀賞の伊藤ゆいなさんと優秀賞5名の方へ表彰状が授与されました。その後一人ずつ明るく元気に正々堂々と発表がなされました。続いて、基調講演が行われました。

## 基調講演「共に走る～立ち直りに大切なこと～」

## 多摩少年院池田一院長



犯罪者非行者は虐待やいじめ等の被害や家庭崩壊の体験者が多く経済的及び心の貧困を持ち自己肯定感が欠如しています。本当は人に優しくしたい、認めてもらいたい、幸せになりたいと思っている。まずはお互いに肯定的

な言葉「リスペクト」をいっぱい掛け合い変化を促し、被害者を始め他人にも思いを寄せる心を芽生えさせ、人との関わりを大切に、人間力豊かに生きてほしい、と指導しています。



作文の表彰式 石森市長から最優秀賞、優秀賞の皆さんに賞状を手渡されました

## 基調講演「壁を乗り越えるために必要なこと」

## サッカー元日本代表

## FC 東京クラブコミュニター石川直宏氏



幼少より体格差に劣等感があり身体を作り鍛え上げ熱願のサッカー日本代表にも選ばれました。現役時代は7度の大けがで挫折するもバネにし乗り越え、待ちわびている仲間のもとピッチへ復活を果たしてきました。現在では多摩少年院でもサッカーを教えています。味方はもちろん敵のナイスプレーも褒める!認める!受け入れる!皆で「リスペクト」しあい楽しいサッカーを指導しています。

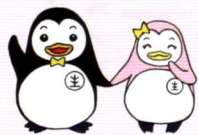


多摩少年院で栽培したカボチャとタマネギの販売ブース、直ぐに売り切れました

生きづらさを生きていく。今回いちょうホールからの全プログラム通してのメッセージは「リスペクト」でした。全てに寄り添いそして全てを受け入れていくということではないでしょうか。



## 第73回社会を明るくする運動 八王子実施委員会作文コンテスト最優秀賞



# 友だちがくれた美しい夕焼け

七国小学校6年 伊藤 ゆいな



「あなたの周りでいじめはありますか。」

学校で毎学期、いじめのアンケートがあります。ニュースでもいじめに関する事件が時々報道されています。私の学校でも、いじめにつながりそうな事が度々ありました。悲しそうな顔をしている友達を見ると

「なんてひどい事をする人がいるんだろう。」と、怒りの感情が湧いてきました。ですが、この時の私はまだ、自分とは全く関係のない別の世界の話のような気がしていました。

「お前鬼な!」。ある日の放課後、仲の良い友達グループで遊んでいる時、一人の子が鬼ごっこを始めました。「逃げろー」と、勝手に鬼を決め、みんな一目散に逃げだしました。私も、鬼に捕まるのが嫌で必死に走りました。みんな笑顔で、楽しく遊んでいると思っていました。

「みんなひどいよ!こんなのいじめだ!」

鬼にされた子は泣きそうな顔でポツンと道路に立ちすくんでいました。その後けんかになり、私は慌てて担任の先生を呼びにいきました。先生とみんなで話し合い、先生から、「お互いの意見を聞かないのはよくないよ。」と注意を受けました。でも、この時まで私は、「本当に悪いことだったのかな?」と思っていました。

みんなで仲良く遊んでいたはずなのに。鬼を決めて鬼ごっこをするのは、そんなに悪い事だったのかな。私のした事もいじめなのかな。いじめとけんかは何が違うのだろう。一気に不安な気持ちになりました。

次の日、私が大好きな図書館に行きました。しかし、昨日の不安であまり楽しめず、ずっと図書館の中をさまよっていました。すると、ふと法律について書いてある本が目にとまりました。内容が気になったので読んでみるとそこに

は、いじめについて書かれていて、こう書いてありました。

「いじめとは、同じ学校に通っているなど、一定の人的関係にいる子どもなどが、心理的または物理的な影響を与える行いで、それを受けた子どもが心身の苦痛を感じているものをいう。」

私はこの時、ハッとしました。私は気づかないうちに、友達の心を傷つけ、いじめる側になってしまっていました。自分にとって嫌な事でなくても、相手にとってはとても辛くて、苦しい事があるのだと気づかされました。いじめる側は、辛くも悲しくもないけれど、いじめられている側は、周りの人が想像もできない程、辛い思いをしているのです。

私はあの時、どうすれば良かったのかを考えました。まずはみんなの意見を聞く事、色々な考えがある事を尊重する事、相手の気持ちを思いやる事。そうすれば、悲しい気持ちをする人がいなくなるはずですよ。いじめをなくすために大切な事は、相手の気持ちを想像して、温かい気持ちで接する事だと思います。自分とは違う考えや価値観を認めてあげる事も大切です。

けんかをしてから、私の心の中は黒い雲が立ち込めたようにどんよりとしていました。好きな事をしている時でも、友達の事が気になってしまって手がつかなくなりました。最初は勇気が出なかったけれど、やっぱりきちんと謝りに行こう、私の気持ちをちゃんと伝えようと思いました。友達の顔を見るまではドキドキしていたけれど、「あの時はごめん!」と勇気を出して伝えたら、「いいよ。大丈夫。」とにっこり笑って言ってくれました。私はホッとすると同時に、仲直りができてうれしく思いました。空を見上げると、美しい夕焼け空が広がっていました。

## 最優秀賞受賞者インタビュー

伊藤 ゆいなさん（市立七国中学校 1年）

同席：黒島 永虎 校長

インタビュアー・広報部 大久保 隆 / 荒木 美奈

最優秀賞を受賞した伊藤さんは、現在は市立七国中学校で充実した学校生活を過ごしています。広報部の大久保と荒木が素晴らしい作文を書かれた伊藤さんを訪ねインタビューしました。

大久保 初めイジメとは気づかなかったけれども、いつの間にかいじめになっていたということ、そして、そういうことをしないためには、どうしたらいいかということがよくまとめられていますね。「友達くれた美しい夕焼け」という小説みたいな素敵なタイトルだけど、どうしてこのタイトルにしたの？

伊藤 以前からお母さんが結論を題名にしてしまうと、中身がわかってしまい読んでもらえないので、読みたいという気持ちにさせるようなタイトルにするといいわれられていて、このタイトルにしました。小説はよく読みます。

大久保 どんなお話が好きですか？またおすすめの本はありますか？

伊藤 現実のことと、プラス空想の世界、ちょっとありえないけど、身近に起こりそうなこと、あったらいいなというファンタジーみたいな作品が好きです。おすすめは辻村深月さんの「かがみの孤城」です。学校に行けなくなった7人の女の子が苦しいことを共有して、自分たちだけの居場所を見つけ、そのうち心を開いていき、学校に行くことを頑張ってみようかなという、気持ちになっていくお話です。後半になってみんなで前向きになっていくところが好きです。中学生のお話で身近な感じもします。

大久保 将来の夢は何ですか？

伊藤 教員です。小学校の時の先生も優しくて、中学校の先生もいつも楽しそうで、自分も子供たちに信頼される先生になれたらいいと思います。

荒木 先生という職業も大変ですが、このように子供たちに思ってもらえるのは、先生冥利に尽きますね。

黒島 子供たちを大事にしている先生ばかりなので、それが伝わっているというのは嬉しいですね。子供たちは本当によく見えています。3年生の面接の練習をしている時も尊敬する人は、ご両親や先生という答えが多いですね。

大久保 何の教科の先生になりたいですか？

伊藤 美術や音楽も好きですし、国語もいいですし、社会も楽しそうです。



伊藤ゆいなさんと黒島永虎校長

荒木 そうしたら小学校の先生が良さそうですね。学校は勉強を教えるだけではなく、道徳的なことも教える場所なので、素敵な先生になりそうで、楽しみです。

荒木 ところで、伊藤さんが友達から心ない言葉をかけられたことはありますか？

伊藤 あまり気にしていません。

荒木 気にしすぎないとういこともいいことですね。最近、誹謗中傷で人を傷つける事件のニュースなども多いですがどう思いますか？

伊藤 そういうことをする人は、自らイライラしてやっている人とSNSなどで単なる言葉のあやで、悪気はない人の2種類いると思います。イライラして考えずにネットにアップしちゃう人は気をつけてほしいと思います。

大久保 中学生なのに、きちんと考えていますね。ところで、「社会を明るくする運動」は知っていますか？

伊藤 学校から配布されプリントを見て知りました。

黒島 学校からは手紙を配布するだけなので、応募は全て生徒の意思ですね。

大久保 家庭の中で社会的な問題の話はする？

伊藤 あまりしないです。

荒木 でも、社会経験の豊富なご両親は普段から、いろいろな社会的な常識やマナーをさりげなく教えてくれているのですね。素敵なお家庭ですね。最後にどんな大人になりたいですか？

伊藤 楽しく生きることのできる大人になりたいです。

大久保 将来が楽しみです。10年後には素敵なお先生になっているかもしれませんし、また教員以外の道を目指すかもしれないですし、可能性がたくさんありますね。今日は、素敵な伊藤さんのいろいろなお話を聞いて、よかったです。これからもがんばってください。ありがとうございました。



# 令和5年度第6ブロック 保護司組織運営連絡協議会

高尾分区 加藤 正道

10月18日(水)、多摩市関戸公民館「ヴィータホール」に於いて、令和5年度の第6ブロック保護司組織運営連絡協議会が開催されました。

今年度は、日野・多摩・稲城地区保護司会が当番となり、八王子地区からは15名が参加しました。

本年度の議題は、「保護司の育成」と題し、①新人保護司の育成 ②経験・知識の継承 ③研修の在り方の3項目を柱とし、意見交換が行われました。

八王子地区は、広報部の玉那覇副部長が、八王子地区における、前記3項目の現況・課題・対策検討についての報告を行い、尾寄総務部長が、各地区からの質問に応答しました。

今協議会には、東京保護観察所生駒所長、立川支部土公支部長、東京都保護司会連合会の正副

会長が出席され、熱い協議内容に、感心された様子でした。

保護観察所からは、「①育成については、新任時の特に大事な時期に、新任者の不安を取り除く努力を手厚くしている、②経験・知識の伝承については、とにかく制度や技法を伝えることが中心になりがちだが、保護司という仕事におけるやりがいや心を伝えることに重きを置いている、③研修の在り方については、管外研修や自主研修として多くの研修事業を行っている、以上の対応がよくわかり、実りある協議会でした。」との高評価をいただきました。

最後は、次年度の当番となる、西多摩地区保護司会からの挨拶があり、閉会しました。



会場では各地区との意見交換が行われた



玉那覇明保護司からの報告

## 着任のご挨拶

保護観察官 林本 潤

この度、西分区の主任官となりました。林本潤と申します。私は東京地方検察庁から人事交流という制度を用いて、異動となりました。これまで検察事務官として働いており、「HERO」でいう松たか子さん、「京都地検の女」でいう渡辺いっけいさんがまさにそうです。段ボールを持った姿が何度かテレビで放映されたこともあります。この詳細はまたの機会に。

個人的な話をすると、人より少し肩幅が広いのが自慢です。首から上と下が合みたいだと言われることもあります。学生時代は剣道をしていましたが、パスへの強い憧れから社会人になってバスケットを始め、そのために筋トレも始めました。しかし、大きく、そして強くなる自身の体の変化にはまってしまい、今ではバスケットがおまけです。肩幅だけでなく、顔と名前も覚えてもらえるよう頑張りたいと思います。





## 令和5年度更生保護事業関係者顕彰

藍綬褒章



小山 幸夫(西)

法務大臣表彰



本田 良久(みなみ)

法務大臣表彰



小俣 博照(東)

法務大臣表彰



青木 隆夫(中央)

### 全国保護司連盟理事長表彰

尾崎 敏夫(中央)、佐藤 順一(中央)

### 関東地方更生保護委員長表彰

石森 孝志(中央)、大久保 隆(みなみ)、可児 克之(東)、鈴木 基司(みなみ)、  
高取 良昌(中央)、日野出 美智子(西)、八木下 輝一(みなみ)

### 関東地方保護司連盟会長表彰

加藤 正道(高尾)、小林 政憲(中央)、佐藤 ますみ(高尾)、柴田 健彦(中央)、  
田中 康夫(西)、戸谷 宰之(西)、橋山 力也(みなみ)、松本 久美子(西)、  
山田 敏雄(西)

### 東京保護観察所長表彰

菊地 寛子(みなみ)、田畑 修(中央)、飛川 美和子(西)、平本 淳(みなみ)

### 東京保護観察所長感謝状 家族功労者

石森 康子、河井 和代

### 東京都保護司会連合会会長表彰

大山 義順(高尾)、黒木 松男(西)、小久保 視加(東)、村尾 博司(東)

## ○新任保護司の紹介

中央分区 のしほ 野嶋 孝文

2023年9月に中央分区配属となりました。生まれも育ちも八王子です。現在、八王子市役所の近くで行政書士事務所を営んでおります。

小学生の頃は野球と将棋に明け暮れ、「八王子将棋クラブ」には毎週のように通い、当時小学生の羽生善治氏とは二度対戦(1勝1敗)。

中学生でジャイアンツの原辰徳選手に憧れ、彼の母校、東海大相模高校で野球をしようと決意。毎日厳しい練習に耐え、なんとか3年間乗り切りました。

いろいろな経験を保護司の活動に役立てられればと思います。どうぞよろしくお願いたします。





# 活動状況報告

## 高尾分区分外研修旅行 10月29日(日)、30日(月)

10月秋真っ盛りの中、前橋刑務所の見学を行いました。今回は13名の参加者で実施しました。

交通はバスをチャーターして、朝7時にスタートして参加者宅近く7地点をバスで回り乗車していただくのが、高尾分区分が長年続けてきて恒例となっています。

初日は紅葉見物で道の駅川場、吹き割の滝を見学してホテルへ。

2日はいよいよ前橋刑務所の見学、施設説明、施設内見学、質疑応答と約2時間の見学でした。新任保護司の方は初めての刑務所見学でもあり緊張していたようです。会員相互の親睦を深める良い機会となりました。(高尾分区分長 八木 光司)



## 東分区分外研修旅行 11月3日(金)

東分区分では、喜連川社会復帰促進センターで研修を行いました。外観は、監獄・刑務所というものではなく、一見すると宿泊施設のようなものでした。途中昼食をはさんで、定刻通りに施設に到着。早速施設の概要説明に入り、のちに施設内見学となりました。

社会復帰促進センターという通り、仮釈放なり満期出所の時には、即就労というのが目標で、単なる刑務所作業ではないのが最大の売りなのです。印象に残ったのは、広い空間の中で、民間の講師が熱心に講座を開催していることでした。これは、少ない刑務官数で室内を見渡せるという利点もあることでした。また、ハウスクリーニング科では、男女混合の受刑者が一緒になって受講し、日光彫の科では、それは見事な家具を制作していました。(東分区分長 秋山 重男)



## SST 自主研修に参加して 9月13日(水) 子安市民センター3階調理室

SST とは、ソーシャルスキルズトレーニング(Social Skills Training)の略であり、社会生活技能訓練と翻訳されます。

当日は、SST 普及協会認定講師の旗野哲也、八木原律子両先生から、テキスト「面接の基本02」を使い、ロールプレイング方式について学びました。講義終了後、参加者が円陣を作りそれぞれの役割を実践するなど、研修を通してSST が更生を目的とする対象者の保護司面接に役立つことを実感しました。(中央分区分 石川 泰)

## 社会貢献活動：市立高尾山学園 11月19日(日)

この日は、高尾・中央・西分区分の保護司と対象者、更生保護女性会、BBS、八王子市防犯課、高尾警察署の方々、約30名が参加いたしました。好天に恵まれ、校庭では草むしりや落ち葉の収集、側溝の清掃などを行い、校内では窓ふきや廊下の清掃などを行い、約2時間活動いたしました。終わりに、校長先生からお礼の言葉をいただき、対象者も清々しい気持ちで学園を後にしました。なお、社会貢献活動としてこのほかに、大栗川清掃(10月22日(日))、ひよどり山中中学校清掃(11月26日(日))を実施しております。関係者の皆様のご協力に感謝いたします。

(地域活動部長 黒沢 栄)



### 編集 後記

広報誌の発行までには4-5回の編集会議、原稿依頼、取材、校正、発送があります。部員たちは楽しみながら取り組んでいます。取り上げてもらいたい話題などありましたら、ぜひご一報ください。(青木)